

# 平成24年度第1回「東山の未来」区民会議

日時 平成24年11月8日(木)

午後3時～

場所 ハイアットリージェンシー京都

## 次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 出席者の紹介

4 委員の委嘱

5 座長の選出

6 「東山の未来」区民会議について p 1

・ 別 冊 東山区基本計画前期推進プログラム

7 議 事

(1) 東山区区民提案・共汗型まちづくり支援事業について p 7

8 報告事項

(1) 東山区まちづくり支援事業について p 8

(2) 各プロジェクトの活動について p 11

(3) まちづくりカフェ@東山について p 15

9 そ の 他

10 閉 会

# 「東山の未来」区民会議について

## 1 設立の経緯

- 「東山区基本計画に掲げるまちづくり方針に基づき、目指すべき未来像を実現するための事業の進行管理と支援を行うことを目的」に、「東山区基本計画推進委員会」が発足（平成23年11月）。
- 区民が自ら考え、提案し、行動する取組を、区役所との共汗によって推進していくための予算システムである、「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」が平成24年度から創設されるなど、区の権限が強化されるとともに、これまで以上に区民との協働のまちづくりを推進していくことが求められている。



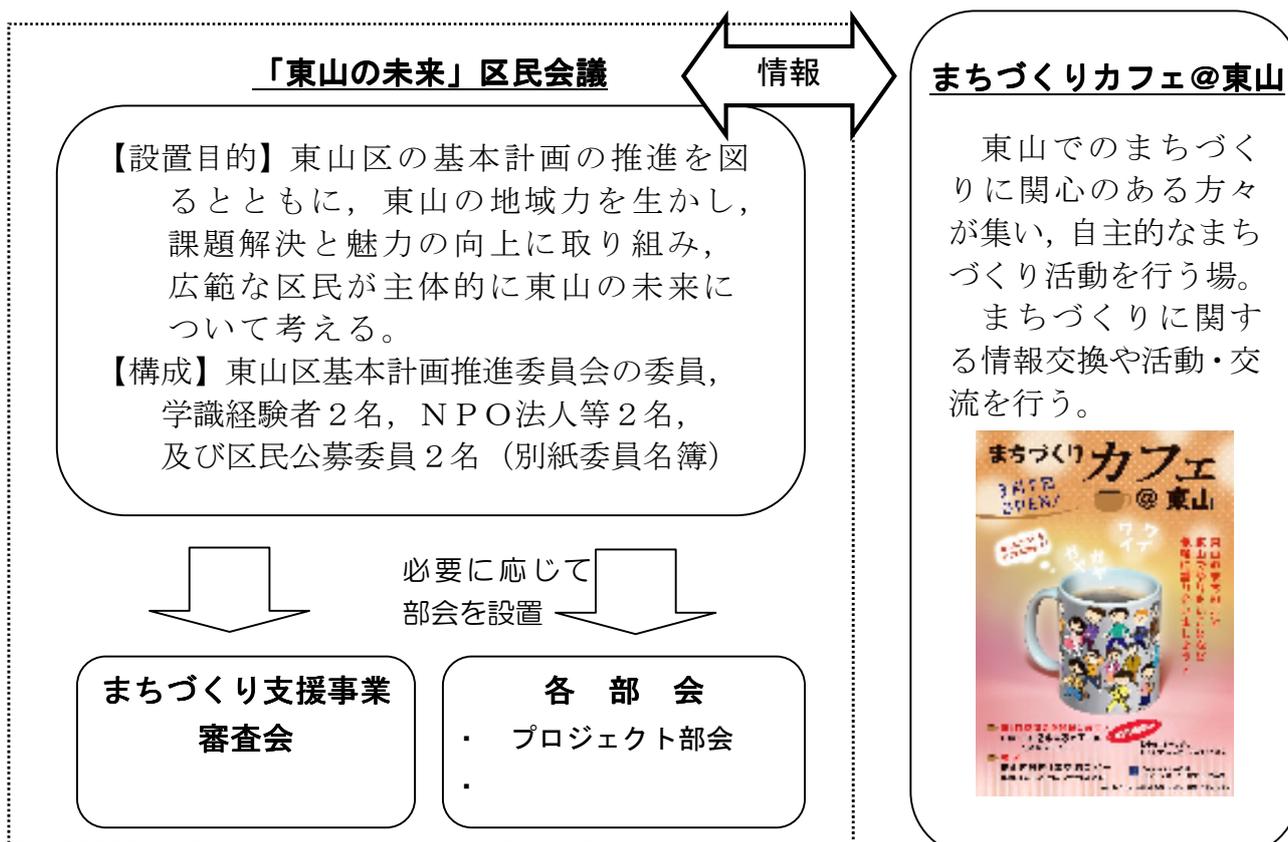
東山区基本計画推進委員会が担ってきた役割にとどまらず、より幅広い専門知識や区民の意見を反映し、「東山の未来」について検討する組織が必要。

## 2 役割

主に以下の各事項について審議，承認を行う。

- 東山区基本計画の推進に関すること（推進プログラムを含む進行管理・支援）
- 東山区区民提案・共汗型まちづくり支援事業に関すること（支援事業審査会）など、区民による、区民のための活動に関すること
- その他，東山区の発展，活性化，まちづくりのための東山区の魅力向上や課題の解決に関すること

## 3 組織体制



「東山の未来」区民会議 委員名簿

|          | 団体名                                      | 役職    | 氏名     | 備考   |
|----------|--|-------|--------|------|
| 学識経験者    | 宗教学者（基本計画推進委員会座長）                        | —     | 山折 哲雄  |      |
|          | 京都女子大学家政学部准教授                            | —     | 井上 えり子 |      |
|          | 京都造形芸術大学教授                               | —     | 関本 徹生  |      |
|          | 京都女子大学家政学部准教授                            | —     | 山田 健司  |      |
| 地元代表     | 有済連絡協議会                                  | 会 長   | 浅田 信夫  |      |
|          | 栗田自治連合会                                  | 会 長   | 安田 茂夫  |      |
|          | 弥栄自治連合会                                  | 会 長   | 今西 知夫  |      |
|          | 新道自治連合会                                  | 会 長   | 田中 正博  |      |
|          | 六原自治連合会                                  | 会 長   | 本政 八重子 |      |
|          | 清水自治会連合会                                 | 会 長   | 田中 博武  |      |
|          | 貞教自治連合会                                  | 会 長   | 長田 止夫  |      |
|          | 修道自治連合会                                  | 会 長   | 濱田 健二  |      |
|          | 一橋自治協議会                                  | 会 長   | 田中 満   |      |
|          | 月輪学区自治連合協議会                              | 会 長   | 池田 良穂  |      |
| 今熊野自治連合会 | 会 長                                      | 石井 良之 |        |      |
| 各種団体代表   | 東山区社会福祉協議会                               | 会 長   | 木村 信夫  |      |
|          | 東山区保健協議会連合会                              | 会 長   | 村井 正   |      |
|          | 東山区民生児童委員会                               | 会 長   | 松永 洋子  |      |
|          | 東山区体育振興会連合会                              | 会 長   | 加藤 雅也  |      |
|          | 東山区シニアクラブ連合会                             | 会 長   | 前田 新次  |      |
|          | 東山区地域女性連合会                               | 会 長   | 本政 八重子 | (再掲) |
|          | 東山区交通安全対策協議会                             | 会 長   | 村田 敏光  |      |
|          | 東山消防団                                    | 団 長   | 岡本 喜八  |      |
|          | 東山少年補導委員会                                | 会 長   | 安田 茂夫  | (再掲) |
| NPO法人等   | NPO法人きょうとNPOセンター<br>(京都市東山いきいき市民活動センター長) |       | 若生 麻衣  |      |
|          | 公益財団法人京都市ユースサービス協会<br>(京都市東山青少年活動センター長)  |       | 山田 宏行  |      |
| 区民公募委員   | 区民公募委員                                   |       | 富森 れい子 |      |
|          | 区民公募委員                                   |       | 松浦 志帆子 |      |
| 区内行政機関等  | 東山警察署                                    | 署 長   | 朝子 功三  |      |
|          | 東山消防署                                    | 署 長   | 岡田 照雄  |      |
|          | 南部まち美化事務所                                | 次 長   | 井尻 圭一  |      |
|          | 東部土木事務所                                  | 所 長   | 福井 博茂  |      |
|          | 東山区役所                                    | 区 長   | 永井 久美子 |      |

## 「東山の未来」区民会議設置要綱

### （目的）

第1条 東山区の基本計画の推進を図るとともに、東山の地域力を生かし、課題解決と魅力の向上に取り組み、広範な区民が主体的に東山の未来について考える場として、『東山の未来』区民会議（以下「区民会議」という。）を設置する。

### （審議事項）

第2条 区民会議は、前条の目的を達成するための事業を行う。

### （構成）

第3条 委員は、次の各号に掲げる者のうちから東山区長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 別表に定める区内自治連合会組織、各種団体及び行政機関の代表者
- (3) 区民公募委員
- (4) 前3号に掲げる者のほか、東山区長が適当と認める者

### （委員の任期）

第4条 委員の任期は、3年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

- 2 委員の任期の途中において、新たに委員となった者の任期は、委嘱の日から他の委員の任期の末日までとする。
- 3 委員は再任されることができる。

### （座長及び副座長）

第5条 区民会議に座長及び副座長を置く。

- 2 座長は、委員の互選により定め、副座長は座長が指名する。
- 3 座長は、委員会を代表する。
- 4 副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるときは、その職務を代理する。

### （招集及び議事）

第6条 区民会議は、座長が招集する。

- 2 座長は、会議の議長となる。
- 3 座長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見の陳述、説明その他の必要な協力を求めることができる。

(部会の設置)

第7条 区民会議には、専門的な事項について研究・議論する場として、部会を置くことができる。

- 2 新たな部会の設置に関しては、区民会議の承認を得るものとする。
- 3 部会には、必要に応じて委員以外の者の参加を認めるものとする。
- 4 その他部会に関する場合は、各部会において定めるものとする。

(東山区まちづくり支援事業審査会の設置)

第8条 区民会議に、「東山区まちづくり支援事業助成金交付要綱」に定める、「東山区まちづくり支援事業助成金審査会」を設置する。

2 東山区まちづくり支援事業審査会は、東山区まちづくり支援事業助成金の交付、不交付、交付額及び交付条件の審査に関する事項を所掌し、その結果を区民会議に報告するものとする。

(庶務)

第9条 区民会議の庶務は、東山区役所地域力推進室に置く。

(補則)

第10条 本要綱に定めるもののほか、区民会議に関し必要な事項は、座長が定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成24年7月27日から施行する。

(経過措置)

- 2 第6条第1項の規定にかかわらず、最初の区民会議は東山区長が招集する。
- 3 第4条1項の規定にかかわらず、最初の委員の任期は、平成27年3月31日までとする。

| 団体名     |              |
|---------|--------------|
| 地元代表    | 有濟連絡協議会      |
|         | 粟田自治連合会      |
|         | 弥栄自治連合会      |
|         | 新道自治連合会      |
|         | 六原自治連合会      |
|         | 清水自治会連合会     |
|         | 貞教自治連合会      |
|         | 修道自治連合会      |
|         | 一橋自治協議会      |
|         | 月輪学区自治連合協議会  |
|         | 今熊野自治連合会     |
| 各種団体代表  | 東山区社会福祉協議会   |
|         | 東山区保健協議会連合会  |
|         | 東山区民生児童委員会   |
|         | 東山区体育振興会連合会  |
|         | 東山区シニアクラブ連合会 |
|         | 東山区地域女性連合会   |
|         | 東山区交通安全対策協議会 |
|         | 東山消防団        |
|         | 東山少年補導委員会    |
| 区内行政機関等 | 東山警察署        |
|         | 東山消防署        |
|         | 南部まち美化事務所    |
|         | 東部土木事務所      |
|         | 東山区役所        |

# 東山区基本計画策定委員会～「東山の未来」区民会議

平成21年 3月

## 学区住民円卓会議

H21. 3～H23. 3

- ・ 区民意見を計画に反映するため、順次各学区に設置
- ・ 計画策定に向けた区民アンケート調査を実施
- ・ 延べ56回開催

7月

## 東山区基本計画策定委員会

H21. 7～H23. 3

- ・ 第1回会議 H21. 8
- ・ 次期区基本計画の調査・審議のために設置
- ・ 委員は、有識者、区民代表、公募委員など16名で構成

連携

策定

策定

平成23年 1月

東山区基本計画「東山・まち・  
みらい計画2020」



学区まちづくり  
ビジョン



11月

## 東山区基本計画推進委員会

H23. 11～H24. 7

- ・ 第1回会議 H23. 11
- ・ 推進プログラムの決定、基本計画及び推進プログラムの進捗状況の点検、見直しのために設置
- ・ 委員は、学識経験者、各学区自治連合会会長、各種団体長、区内行政機関。26名で構成
- ・ 推進委員会の下に、推進プログラムの立案・推進・進捗管理、各プロジェクトの企画、運営、進捗管理、見直しを行う「**東山区基本計画企画運営会議**」を設置

策定

平成24年 3月

東山区基本計画「前期  
推進プログラム」(別冊)

## まちづくりカフェ@東山

H24. 3～

- ・ 第1回交流会 H24. 3
- ・ 東山でのまちづくりに関心のある方々が集い、自主的なまちづくり活動を行う。

7月

## 「東山の未来」区民会議

H24. 7～

- ・ 第1回会議 H24. 11

情報



基本計画の推進、まちづくり支援事業、東山区の魅力の向上・課題の解決・・・

## 平成24年度(当初)

### 共汗型事業

#### 「山紫水明の都」枠(東山区の魅力発信)

##### 東山区基本計画の推進

推進組織の運営, 周知用印刷物の発行等

##### 区政情報の発信

東山区来訪者向けホームページ「歩いて楽しむ東山」による情報発信

#### 「結び合う心」枠(地域の絆の強化)

##### 区民ふれあい事業

ふれあいひろば, 文化財鑑賞会, 作品展等の実施

#### 「東山の未来」枠(人づくりと地域の活性化)

##### 新規 観光支援コミュニティの創設

商店等を対象に, 車いすの介助や荷物の一時的預かり等, ソフト面でおもてなしサービスを提供する, 観光支援コミュニティを創設

##### 東山区民ふれあいこどものまち

こどもたちが仮想的な公共機関や商店で働くことにより, 社会の仕組みを認識し, 自分たちの住みたいまちを考へることを通じ, 東山への愛着を持ち, 次代のまちづくりを担う子どもを育てる

##### 新規 まちづくりカフェ・東山の運営

東山区のまちづくりに関心のある方々が集い, 自主的なまちづくり活動を行うための交流や情報発信を行う

### 区民提案型支援事業

#### 東山区まちづくり支援事業(プロジェクト型)

基本計画における喫緊の課題を解決するために行うプロジェクト活動に対し, 活動費相当額を助成する

##### 新規 空き家の活用促進プロジェクト

空き家発生の防止策及び空き家の活用促進に向け, 各学区内の空き家情報の把握, 活用促進策の検討や持ち主へ活用促進を啓発する取組を行う。

##### 新規 手しごと職人のまち東山再発見プロジェクト

職人情報を取りまとめ, データベース化して東山区の手しごと産業の魅力を広く発信し, 産業振興を図ることにより地域の活性化につなげる。

##### 新規 地域の見守り支援プロジェクト

地域の見守り体制を強化するシステムを検討し, 高齢者を地域住民全体で見守るセーフティネットの構築を進めるとともに, 高齢者と地域社会との交流を深め, 地域の活性化を進めるための取組を行う。

#### 課題解決型

区基本計画で示される課題の解決に資する活動に補助

1件あたり事業費の3/4, 20万円を限度に助成

課題例  
・交通問題の解決  
・子育て支援, 森林保全  
・東山の街の振興  
・商店街の賑わい  
・世代間交流ネットワークづくり等

#### 自由提案型

提案内容は自由  
1件あたり事業費の1/2, 20万円を限度に助成

##### 地域の安心安全ネットワークの形成

防犯, 防災, 地域福祉, 子どもの安全対策等安心安全のまちづくりの推進のための学区単位での取組を支援

## 平成25年度(案)

### 共汗型事業

#### 「山紫水明の都」枠(東山区の魅力発信)

##### 東山区基本計画の推進

「東山の未来」区民会議の運営, 周知用印刷物の発行等

##### 区政情報の発信

区来訪者向けホームページ「歩いて楽しむ東山」やFacebook等による情報発信

#### 「結び合う心」枠(地域の絆の強化)

##### 区民ふれあい事業

ふれあいひろば, 文化財鑑賞会, 作品展等の実施

##### 新規 地域防災力の強化

避難所運営マニュアルの作成, 避難所運営訓練・防災研修の実施

#### 「東山の未来」枠(人づくりと地域の活性化)

##### 東山区民ふれあいこどものまち

こどもたちが仮想的な公共機関や商店で働くことにより, 社会の仕組みを認識し, 自分たちの住みたいまちを考へることを通じ, 東山への愛着を持ち, 次代のまちづくりを担う子どもを育てる

##### 充実 まちづくりカフェ・東山の運営

東山区のまちづくりに関心のある方々が集い, 自主的なまちづくり活動を行うための交流や情報発信を行う  
活動場所や活動方法の検討, 新規参加者の活動支援

##### 新規 ひがしやまハピネスプロジェクト

区の人口減少の原因や, 東山に暮らす喜びの検証など, 若い世代の東山区への定住化を促進し, まちの活性化につなげる。

### 区民提案型支援事業

#### 東山区まちづくり支援事業

##### プロジェクト型事業

基本計画における喫緊の課題を解決するために行うプロジェクト活動に対し, 活動費相当額を助成

##### 空き家の活用促進プロジェクト

空き家発生の防止策及び空き家の活用促進に向け, 各学区の空き家情報の把握, 活用促進策の検討や持ち主へ活用促進を啓発する取組を行う。

##### 手しごと職人のまち東山再発見プロジェクト

職人情報を取りまとめ, データベース化して東山区の手しごと産業の魅力を広く発信し, 産業振興を図ることにより地域の活性化につなげる。

##### 地域の見守り支援プロジェクト

高齢者を地域住民全体で見守るセーフティネットの構築を進めるとともに, 高齢者と地域社会との交流を深め, 地域の活性化のための取組を行う。

##### 観光支援コミュニティプロジェクト

商店等を対象に, 車いすの介助や荷物の一時的預かり等, ソフト面でおもてなしサービスを提供する, 観光支援コミュニティを創設

#### 充実

#### 課題解決型事業・自由提案型事業

##### 課題解決型事業

前期推進プログラムに定める重点取組項目の推進に資する事業

##### 自由提案型事業

地域の魅力を高める事業又は地域の活性化につながる事業

事業の規模に応じた補助率・ニューの設置など, より活用しやすい制度への改正, 府補助金との連携などを検討

##### 地域の安心安全ネットワーク

防犯, 防災, 地域福祉, 子どもの安全対策等安心安全のまちづくりの推進のための学区単位での取組を支援

## 報告事項1 東山区まちづくり支援事業について

### 1 東山区まちづくり支援事業の概要

#### (1) 目的

東山区の課題の解決，魅力の向上又は活性化を図るための活動を支援することを目的とする。

#### (2) 対象事業

東山区で活動する団体・グループが東山区内で実施する，次のいずれかに該当する事業が対象

##### ① 課題解決型事業

東山区基本計画に定める20の重点取組項目の推進に資する事業

##### ② 自由提案型事業

地域の魅力を高める事業又は地域の活性化につながる事業

#### (3) 助成金額

##### ① 課題解決型事業

20万円以内（助成の対象となる経費の4分の3以内）

##### ② 自由提案型事業

20万円以内（助成の対象となる経費の2分の1以内）

#### (4) 募集期間

平成24年4月10日～5月31日

### 2 東山区まちづくり支援事業審査会について

- ・ 学識経験者，各地域（学区）・各種団体代表，NPO法人など8名で構成
- ・ 平成24年7月2日（月）に開催
- ・ 地域性，公益性，先駆性，継続性，事業計画の適切さ，収支予算の適切さの5項目について評価
- ・ 会場費や資料代，講師謝礼など，予算の詳細についても厳正に審査

### 3 申請件数及び交付決定件数

#### (1) 申請件数

18件

#### (2) 交付決定件数

16件

予算額1,600千円。  
残額（200千円）は，まちづくりカフェ@東山の参加者による実施事業への補助（30千円/件）に活用！

### 4 助成金交付予定額合計

1,400千円

#### 4 交付決定事業の概要

##### (1) 課題解決型事業

|   | 事業名                               | 団体名              | 事業概要  | 交付予定額   |
|---|-----------------------------------|------------------|---|---------|
| 1 | 図書館から始める街歩き<br>～「京ひがしやま文学散歩」を片手に～ | 図書館から始める街歩き実行委員会 | 「文学作品ゆかりの街歩きコース」を開発し、東山の地域資源(魅力)の発見及び観光コンテンツの充実を目指す。また、本を介して多世代が交流を深める機会を提供する。<br>10月20日(日)にまち歩きを実施         | 100,000 |
| 2 | 貞教子育てサロンいちご組                      | 貞教社会福祉協議会        | 未就園児の子ども達とその母親に、学区を超えた出会いの場、情報交換の場、安心して遊べる場を提供することにより、子育て中の母親を支援する。<br>毎週月・水曜日にサロンを開催                       | 100,000 |
| 3 | 栗田学区における白川沿いの道路空間の安全・快適性の創出の推進    | 市民大学院・AWATA研究会   | 栗田学区における白川沿いの道路空間の安全・快適性の創出を目的に、環境アセスメントや、周辺住民の意識調査などを行う。<br>1月中旬住民アンケート実施予定                                | 100,000 |
| 4 | 東山区における「食」を通じた地域ネットワーク活性事業        | 京都女子大学栄養クリニック    | 地域の高齢者(食育ボランティア)による料理教室の実施によって、長年守り、伝えられてきた食文化を次世代へ継承し、世代間交流ネットワークの形成を促進する。<br>10月27日(土)に親子料理教室実施           | 150,000 |
| 5 | 福祉ボランティアの育成事業及び高齢者への情報発信事業        | NPO法人助けあいグループりぼん | 高齢者が安心して暮らせる地域社会づくりのため、研修を通じた福祉活動をすすめるボランティアの育成や、認知症に関する講演会を行う。<br>9月8日(土)認知症あんしんサポーター講座実施                  | 70,000  |
| 6 | 保育園施設を活用した子育て支援事業                 | 愛友保育園            | 保育園で行ういろいろなイベントを通して、親子のつながりや地域とのつながりと深める。<br>10月27日(土)に親子で体操実施など  | 50,000  |
| 7 | 七条大橋百年記念・橋めぐり&シンポジウム              | NPO法人京都景観フォーラム   | 来年七条大橋が建設百周年を迎えるのを機に、東山区に架かる鴨川の橋めぐりツアー、シンポジウムなどを行い、市民・区民の関心を高め、鴨川の景観まちづくりを考える機運を高める。<br>9月23日(日)鴨川橋めぐりツアー実施 | 120,000 |

(2) 自由提案型事業

|   |                          |                      |   |         |
|---|--------------------------|----------------------|---|---------|
| 1 | ゲンジホテルの再生事業              | 白美会(白川の環境を守る会)       | 白川の特性を活かし、ホテルの再生による地域の活性化と、地域住民にホテルが飛ぶ自然豊かな白川を楽しんでいただくとともに、文化観光東山の発展に資する。<br>10月14日河川清掃実施(幼虫放流は来年2月予定)  | 30,000  |
| 2 | 会食のつどい                   | さくら(会食のつどい)          | 住み慣れた地域で、住み続けたいとの願いをかなえるため、孤食を避け、食事をともに作り、会食会を開催することにより、地域交流と居場所づくりを図る。<br>9月20日秋の遠足実施  | 120,000 |
| 3 | 五条坂・茶わん坂の陶芸文化過去・現在(仮題)   | 五条坂茶わん坂ネットワーク        | 五条坂・茶わん坂近辺の陶芸家の作品展などを、各作家の工房や空き店舗などを活用し、2週間程度の期間で実施することにより、観光客に京都の文化の奥深さを認識していただくとともに、地域の方への歴史と文化の再認識、及び住民であることの誇りと喜びを取り戻していただく。<br>11月1日(木)~わん碗ONE展実施中 | 120,000 |
| 4 | グランドゴルフによる人々の交流事業        | ソフトバレーボール、グランドゴルフ同好会 | 定期的に多世代の交流を図ることにより、健康の維持に努める。<br>月2回程度グラウンド・ゴルフ事業を実施  | 50,000  |
| 5 | 東山区における区民参加型ワールドミュージック事業 | 御池ワールドミュージック事務局      | 東山区在住の児童及びその家族に、ワールドミュージックを通して世界の様々な文化・芸術を学んでもらう。<br>12月上旬クリスマスコンサート等実施予定   | 120,000 |
| 6 | 高齢期丸ごと相談会                | NPO法人東山やすらぎの会        | 人生の締めくくりをどうするかについて、まるごと相談ができる機会をつくり、高齢者が抱える不安を軽減し、前向きに生きることを応援する。<br>10月28日~連続セミナー・相談会実施  | 100,000 |
| 7 | 古川町商店街華頂門掃き隊             | 華頂短期大学いきいき生活応援隊      | 古川町商店街店舗前の路上について、華頂大学の学生が定期的に門掃きをすることをきっかけに、商店街の活性化に寄与する。<br>8月22日(水)~実施中(月1回程度)  | 30,000  |
| 8 | 化粧地蔵ワークショップ              | 地域風習ひろめ隊             | 「化粧地蔵」という風習に関するワークショップ事業を開催することにより、新住民と旧住民を繋げ、地域特有の風習の浸透及び地域コミュニティの活性化を図る。<br>12月2日(日)化粧地蔵ワークショップ実施予定   | 70,000  |
| 9 | 古川町センタープロジェクト            | 認定NPO法人京都藝際交流協会      | 文化芸術により、古川町商店街内に位置する古川町センターの活性化、地域交流を行う。<br>8月17、18日(金、土)アートイベント実施  | 70,000  |

## 報告事項2 プロジェクトの活動について

### 地域の見守り支援プロジェクトチーム活動報告

#### 1 チーム活動の目標

東山区の老年人口は約 12,000 人で、全人口に占める割合は約 30%と 3人に1人が高齢者の状態です。

高齢者や障害のある人は、買物や通院等の外出や、食事の支度等、日常生活における様々な場面で不便が生じています。また地域コミュニティの衰退等に伴う高齢者の所在不明や孤独死等様々な問題が表面化しています。

当プロジェクトでは、高齢化の一層の進展を踏まえ、高齢者と地域社会との交流を深め、高齢者を地域住民全体で見守るセーフティーネットの構築を進めるための取組を行います。

#### 2 プロジェクトチームメンバー

山田健司京都女子大学准教授をリーダーに、区社会福祉協議会、地域包括支援センター、地域介護予防推進センター、地域の住民、大学生や区役所職員でチームを構成しています。

#### 3 取組方針

高齢者に外出していただくことにより、道行く人や店員さん達との会話が生まれ、互いの存在を意識する気持ちが醸成されます。また、近所の住民の安否を気遣うなど、自分も支援する側にまわられます。人が動くことで生まれる何気ない「つながり」から見守り・見守られるセーフティーネットを構築することを狙いとしています。

#### 4 今年度の取組

##### 1 空き家活用による地域の見守り拠点の創設

貞教学区に見守りサテライト「ひだまり」と「お茶の間ハウス」を開設しました。

また、今熊野学区でもスーパー「ステップ今熊野」の近隣に買い物支援サテライトとして、「ホップ」と「ジャンプ」を設置し、買い物の途中の休憩や買い物応援隊の中継地としてお使いいただいています。

##### 2 買い物応援隊、エリア支援及びLED電球による地域相互見守り支援

買い物応援隊及びエリア支援については、継続して実施しています。

LED電球による見守りは、設置箇所を増設しています。

##### 3 地域の方々への研修実施

7月に見守りサテライト「ひだまり」で熱中症をテーマで研修を実施しました。



買い物支援サテライト「ホップ」



買い物支援サテライト「ジャンプ」

## 空き家の活用促進プロジェクトチーム活動報告

### 1 チーム活動の目標

東山区内には、少子高齢化の進展とともに、数多くの空き家が発生し、防犯、防火・防災上の課題や、周辺の住民生活への影響などを生じさせています。本チームでは、これまでの調査結果や、行政や地域の取組をもとに、空き家発生メカニズムに検討を加え、空き家活用策の提案、空き家所有者への啓発などに取り組むとともに、活用、改修、建替えを促進する行政施策への提言を行うなど、東山区の空き家問題の解決に資する取組を行います。

### 2 プロジェクトチームメンバー

井上えり子京都女子大学准教授をリーダーに、地域の住民や区役所関係職員の参画によりチームを構成しています。

### 3 取組方針

- 1 空き家を増やさないための取組の推進
  - ・ 空き家の現況把握
  - ・ 啓発活動、管理・補修の代行システムの検討、利・活用の推進
- 2 空き家の建替、防火・耐震等改修の促進

### 4 今年度の取組

- 1 取組の基礎になる空き家の実態調査を行います。現在、貞教学区、修道学区の調査を終え、今後、一橋学区、月輪学区の調査に取り組みます。
- 2 京都女子大学による空き家見守りボランティア事業との連携を得ながら、空き家を増やさないための啓発活動に取り組みます。



(イメージ写真)



(プロジェクトチームメンバー)

# 手しごと職人のまち東山再発見プロジェクトチーム活動報告

## 1 チーム活動の目標

東山区内には、古くから京都の文化や都市の営みを支えてきた伝統的な手しごとを継承する「職人」が、数多く暮らし、その生業を続けています。

こうした職人の技術は、今日もなお伝統的な産業や文化を尊重し、暮らしに活かしている京都市民にとって、不可欠なものであるとともに、国宝や重要文化財の継承にも必要な貴重な日本文化の礎でもあります。

大量生産型の工業製品が安価で供給され、「もの」の価値が見失われがちな今日、これら職人の技術に今一度、光を当て、活性化を図り、次代に継承する取組みが欠かせません。

このため、本プロジェクトチームでは、こうした技術を持つ職人はもとより、広く区民の参画と協働のもとに、手しごとの価値、意義や重みを再発見し、こうした技術が集積する東山区の魅力を広く発信することを通じて、伝統的な手しごとの活性化と継承に貢献することとしてまいりたい。

## 2 プロジェクトチームメンバー

関本徹生京都造形芸術大学教授をチームリーダーに、地域の住民や区役所関係職員の参画によりチームを構成します。

## 3 取組方針

- 1 職人情報の収集と調査・分析、課題の抽出、並びに取組基盤の整備
- 2 職人の技術の保存・継承に向けた対策の検討
- 3 職人の技術の魅力発信と魅力に触れる取組の推進を通じた伝統的産業と東山区の活性化

## 4 今年度の取り組み（2012年10月15日現在）

大学側で7月2日に、調査方法等に関するミーティングを行いました。

週2回ヒアリング調査を進め、現在60件程の情報収集を行いました。

今後は11月17日に、東山職人弾丸ツアーとして、職人の工房を巡り、職人の知恵や技術を見学する企画を行い、3月17日には職人サミットとして、職人によるシンポジウムを企画、伝統工芸品の需要や後継者問題等、職人の現状を知る機会を提供します。



## 「東山観光支援コミュニティ」プロジェクトチーム活動報告

### 1 チーム活動の目標

東山区は、日本有数の観光地であり高齢者や障害をお持ちの方、子ども連れの方、外国人など様々な観光客が訪れるまちである。

こうした方々に対して、バリアフリー等ハード面の整備ができない商店や観光施設でも、車いすの介助や荷物の一時預かりなど、困ったことに対する親切できめ細かいサービスを行い、安心して商店等の利用ができるようにすることで、観光客がより快適に東山観光を楽しむことができる。

そこで、少子高齢化社会の進展や外国人観光客の一層の増加を見据え、こうしたサービスを行う商店等による観光支援コミュニティを形成し、観光客に対し、各店舗が相互にそれぞれの取組について情報共有して補い合い、より充実した支援・おもてなしを行うことで、誰もが観光を楽しめるユニバーサルツーリズムを推進するものである。

### 2 プロジェクトチームメンバー

京都産業大学経営学部 松高 政 准教授をリーダーに、同ゼミを中心とする市内の大学生、区役所職員、観光支援コミュニティ参加者等によりチームを構成する。

### 3 取組方針

- 1 ハード整備ではなく、おもてなしの心や気遣いなどソフト面でのバリアフリーを推進する。
- 2 様々な観光客が快適に観光を楽しめるサービスを提供しているお店等を掘り起こし、コミュニティへの参加を促進する。
- 3 コミュニティを活用し情報共有や意見交換を行うことで、東山のおもてなしサービスの一層の向上を図る。
- 4 コミュニティの取組を広く情報発信し、様々な方に安心して東山にお越しいただき、快適に観光を楽しんでいただく。

### 4 今年度の取組

- 1 区内観光地の調査を行い、コミュニティの仕組み、シンボルマーク、募集要項等を検討した。
- 2 観光支援コミュニティの参加者募集を開始し、関係団体、店舗等への説明・案内を行い、10月24日に説明会・交流会を実施した。
- 3 立ち上げメンバーによるホームページ、パンフレット等を作成・公表し、コミュニティの活動を開始する予定

会議の一場面



説明会・交流会の様子



# まちづくり **カフェ** @ 東山

第1回交流会 3月7日  
 第2回交流会 4月25日  
 第3回交流会 6月6日  
 第4回交流会 7月18日  
 第5回交流会 8月31日  
 第6回交流会 10月10日  
 @ 東山区役所 1F 交流ロビー



東山のために、何かやってみたい  
 いろいろな人と出会い、活動の幅を広げてみたい  
 東山を舞台に、仲間をみつけて、まちの魅力向上に取り組んでみたい



○これまでの参加者数：のべ288人（第1回～第6回交流会）

○まちカフェから生まれた活動テーマ



アートを活用した地域活性化



観光客をターゲットとしたまちの活性化



図書館から始める街歩き



子育て支援



婚活サポート



商店街のある地域の活性化



空き家の活用促進

○参加者の声

（第4回交流会）

今回初めて参加させていただいたが、これほど沢山の人がまちづくりのために自主的に集まって活動しておられるとは知らなかった。良い刺激をいただいた。

（第5回交流会）

私のようなよそ者が地域の方々とお話しできる場があって楽しかった。少しずつですが、地域活性の取組みに関わらせていただけたらと考えている。

（第6回交流会）

高齢化、人口減少といった現状に、今回または今後のイベントがどれほどプラスの影響を与えられるのか気になりました。一時的ではなく、長期的に効果的なものになればと思います。

Next "Cafe" is

12月5日（水）

午後6時30分～

Coming soon...